

子どもの未来応援団報告書（伊那谷再発見）

表題：合鴨農法で作る！安心安全で美味しいカモカモ米！

学校・団体名：箕輪中部小学校

活動グループ名：6年4組

担当者・教諭名：山田竜平

活動人数：29人

（1）活動を始めた理由

昨年度、学年総合でお米作りに挑戦しました。そこで、子どもたちは「お米作りの大変さ」、「毎日食べることができるありがたさ」を感じていました。しかし、指導者の方の支援が多く、「6年生では、一から自分たちでお米作りに挑戦したい」と考え、また、一から作ることで、本当の意味での、「お米作りの大変さ、ありがたさにふれられるのではないか」とも考えていました。そこで6年生になり、どんなお米を作りたいかと話し合っていると「安心安全」で「美味しい」がキーワードとなり、調べていると合鴨農法にたどり着き、挑戦することになりました。

（2）活動内容・活動の写真

- ① 4～5月・活動計画の話し合い
- ② 6月1日・代播き
- ③ 6月6日・田植え
- ④ 7月3日・合鴨との出会い、田んぼへ放す、お世話開始
- ⑤ 10月6日・校内敷地内へ引っ越し
- ⑥ 10月16日・稲刈り
- ⑦ 10月26日・脱穀
- ⑧ 12月19日・保育園、地域に宣伝
- ⑨ 2月4日・箕輪文化センターでお米販売
- ⑩ 2月16日・感謝の会
- ⑪ 3月・お別れ会（未実施）
- ⑫ その他（普段の取り組み）
 - ・稲の観察、記録
 - ・日々のお世話、観察
 - ・長期休暇当番
 - ・各プロジェクトチームの活動
 - ・お米の販売活動
 - ・活動資金集め（アルミ缶回収）

もう一度、お米作りに挑戦したい！

昨年度、学年総合でお米づくりに挑戦しました。指導者の方に様々な事を学び、体験することができました。最後には、自分たちで作りたいお米料理を考え、必要な材料は自分たちで調達し、調理しました。活動を終わると、子どもたちの振り返りの中に「今年はずっと手伝ってもらったから、来年は、1から作ってみたい!」、「1から作ることで、農家の人たちの苦労を本当の意味で分かると思う」その思いは6年生になっても変わらず、田んぼを見つけるところからスタートしました。

どんなお米を作りたい？

代播き、田植えを終え、田んぼの観察や、稲の事について調べる活動をしていく中で、「どんなお米を作りたいか」を話し合い、最終的に子どもたちは「安心安全で美味しいお米を作りたい!」と願いを持ち、そのために必要なこととして、「水」「土（肥料）」「無農薬」を上げ、それぞれプロジェクトチームを作り活動を始めました。田んぼには基本どれぐらいの水が必要なのか調べるKくん。稲にとってどんな土がいいか、調べ、実際に田んぼの土を触って感触を確かめるSくん、無農薬のお米づくりに合鴨農法があることを知り、実際に取り組んでいる人にメールをし、繋がりを作ったSさん、それぞれのチームで調べたことをクラスでも共有しながら、クラスで取り組むことを少しずつ決めていきました。



